

2022 年度 卒業生アンケート（就職先）結果について（報告）

< 調査概要 >

調査の方法

調査対象 2020 年度学部卒業生（スカラシップ奨学生 1 期生 22 名）の就職先
（上記のうち、協力を得ることができた 3 法人）

調査時期 9 月（2022 年 9 月 1 日～2022 年 9 月 30 日回収分までを集計対象とした

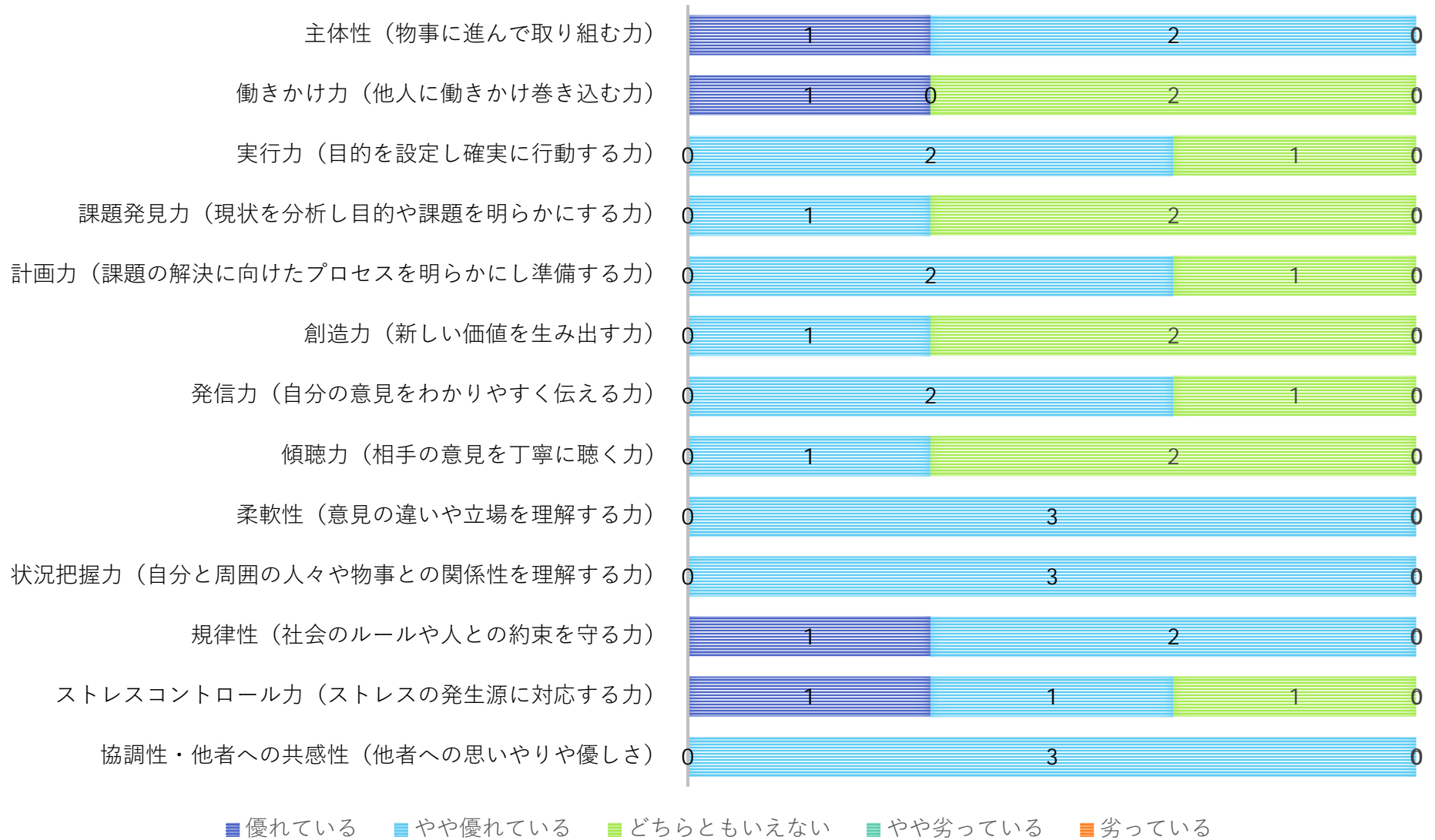
調査方法 Google フォームを用いた無記名による調査

回収状況 回収率：100% 対象数：3 法人 有効回答数：3 件

グラフ参照時における共通注意事項

端数処理の関係上、合計と内訳が小数点第一以下で一致しないことがある。

1. 貴社（法人）に入社した本学部卒業生について、次の各項目に関し、最も当てはまると思うものをお選びください。



2. 次の各項目に対して、大学でどの程度、身につけておくべき能力と思いますか。

社会福祉にかかわる政策と実践及びその両者が連関するシステムを、社会福祉を支える価値や規範とともに理解し、社会福祉の実践に活かすことができる。



現代社会に生きる人々が抱えている生活問題を、社会全体とのかかわりの中で理解し、問題解決に向けた実践に活かすことができる。



様々な角度から物事を捉え、総合的に判断するための幅広い教養を備えた市民として行動することができる。



社会福祉の学びの上に立って、職業人（企業人・教員を含む）として必要となる知識を備えて活動することができる。



社会福祉に関する諸機関との連携、社会資源の調整、新たな社会資源の開発を通じて問題を解決する方法を判断することができる。



地域に生じている問題を発見し、その解決に向けて新たな地域社会を開発するための方法を考えることができる。



多様な価値観を受容し、よりよい共生社会を構築するための方策を他者と協同しながら考えることができる。



生活問題を抱える人々の尊厳を保持するため、当事者の立場に立ちながら、個人が持つ力を最大限高めるための支援技術を身につけ、実践することができる。



国際化・情報化・高度技術化が進む現代社会の中で、多様な人々とかかわるためのコミュニケーション方法を身につけ、実践することができる。



人権の視点に根ざしながら、日々の生活の中で市民としての責務を果たし、市民性を発揮することができる。



■ とても重要 ■ 重要 ■ あまり重要ではない ■ 重要ではない

3. 新卒学生の採用に関し、最も重視する事柄についてお教えてください。

- 障害者と接することを楽しめること。 対応力 何事も積極的に吸収しようとする前向きな姿勢
- 対応力
- 何事も積極的に吸収しようとする前向きな姿勢

4. 本学部卒業生は 貴社（法人）でどのような役割を担っていますか。部署、職種など可能な範囲でお教えてください。

- 入所施設で直接利用者の生活支援をしています。
- 児童指導員
- 介護職として勤務していますが、理解力も高く、安定した仕事ぶりで 2 年目とは思えないくらい周りから頼りにされています。間違いなく次期のリーダー候補です。

5. 本学の学生（卒業生）に期待する資質や能力があればご記入ください。

- 人権の視点
- すでに調整力や周囲を巻き込む力は持ち合わせていますので、介護福祉士等の専門的な資格を習得するとより力が発揮できるものと思われます。

以上